



**太陽光発電蓄電池式
LED灯を整備しました**

夜間における津波避難時には停電が想定され、避難路や避難場所での照明の確保が課題となっています。そこで、夜間の津波避難誘導や夜間の高台における短期滞在のための「灯り」を確保するため、市内に太陽光発電蓄電池式LED灯を16基整備しました。

この設備は、滞在できる公共施設などが無い場所などの条件に合致する市内10か所の市指定津波避難場所あるいはそれに繋がる避難路に設置をしました。津波避難誘導やその場所に留まるための「灯り」として、また、AC電源のある設備については災害時の「電源（携帯などの充電）」として役立つと考えています。

4月14日に発生した「平成28年熊本地震」により、現地では甚大な被害が発生し、多くの被災者が避難生活を余儀なくされています。市としても広く義援金を募集し、日本赤十字社を通じて被災地へ送ることとしました。市の施設などに義援金箱を設置していますので、みなさんの温かいご協力をよろしくお願いします。なお、くわしい設置場所は、市ホームページで確認してください。

設置場所一覧

地区	設置場所	数
鳥羽	城山公園 日和山山頂公園	2基 2基
安楽島	てんぐ山	2基
相差	神明神社境内	2基
千賀	旧旭分校跡地	2基
今浦	今浦観音堂前広場	2基
菅島	宮山 (菅島小学校裏山)	1基
桃取	天神山ゲートボール場	1基
答志 和具	首塚	1基
神島	八代神社境内	1基

平成28年熊本地震義援金

Vol.38

「子どものうそと
子どもの思い」

みんなで子育て
**だっこで
ほっと**

子育て支援センター
☎ 25 7225

子育て相談の中で「家の子は、まだ3歳なのにうそをつくんです」と、このままうそをつく子どもに育ってしまったらどうしようと心配されているかたがいました。

例えば、「おもらししているのに、していないとうそをつくんです」ということをよく聞きます。このうその裏側にある子どもの思いを考えてみると、おもらしたことを叱られたくない。また、おもらしたことをどうにか隠したい。トイレでちゃんとねというママの期待に応えたいなど、いろいろ考えられます。

ねたりします。あげくの果てには、トイレトレーニングも失敗に終わります。

この場合、おもらしたことを叱らずに子どもの気持ちにくんでやるのが、うそをつかせないことにつながります。

幼児期のうそは、自分の失敗を隠して自分を守ろうとする時の他に、空想や願望が口から出てしまうことや、大好きなパパ・ママの気を引きたくて「私のこと見て！」のサインを出していたりすることもあります。叱るよりもそのうその裏にある子どもの気持ちを見抜いてあげることが大切です。素直で正直なところを認めてやり、伸ばしてやることの方がずっと効果的であるように思います。

